

スゴいぞ!
牛乳

組合だより

JA おからく

2023

11

vol.257

令和5年11月13日発行

発行：おかやま酪農業協同組合

責任者：小椋 孝史

津山市川崎94-1

☎(0868)26-1101

令和4年度

「牛乳大好き! 絵画コンクール」受賞作品



優秀賞 教育長賞 倉敷市立緑丘小学校5年 稲本 樺乃
(絵の説明)

自然と牛とおいしい牛乳をのんでいる女の子を書いて「牛乳は、おいしいよ」ということを
つたえたい。

農林水産大臣賞は 真庭市 (有)長恒牧場の愛牛

ロンゲスト マダム K D ゴードン

10月15日、「第78回岡山県畜産共進会」が全農岡山県本部総合家畜市場（真庭市草加部）で開催されました。当日の天気は晴れたり曇った

り、また雨も降ったりと忙しい空模様の中、共進会が行われました。

乳用種はホルスタイン種が8部門に48頭、ジャージー種が4部門に18

頭の合計66頭が出品、肉用種は若雌区4部門・経産牛群・繁殖牛群に合計48頭が出品されました。

審査員としてお

招きした（一社）

日本ホルスタイン

登録協会 事業部

審査課長 高橋貞

光氏による、的確

でスピーディな審

査と明瞭な講評に

より円滑な進行と

なりました。

栄えある農林水

産大臣賞には、ホ

ルスタイン種第7

部の真庭市 (有)長

恒牧場出品の「ロ

ンゲスト マダム K D ゴードン」号が輝きました。講評においては、極めて鋭角的で乳用強健性に富んだ牛であり、体全体の輪郭が鮮明で首は薄く・長く、顔の品位・美しさを備え、さらに、乳房の構造では前乳房の付着の長さ・強さ、後乳房の付着点の高さと幅、乳房底面の高さが優れていると評されました。また、第7部のベストアダーも受賞されました。

リザーブチャンピオンに、ホルスタイン種第5部の津山市 吉原直樹さん出品の「グランデイル チツチヨ」号が選ばれました。

未經産牛チャンピオンには、ホルスタイン種第4部の真庭市 (有)長恒牧場出品の「ロンゲスト チーフ T バーバラ」号、リザーブチャンピオンにはジャージー種第1部の真庭市 丸山昭博さん出品の「SRJ

リツチモンド オールB リンデイ コンツアー」号がそれぞれ選ばれました。

総評においては、体各部位のバラ



審査員の 高橋貞光氏

ンス、乳用強健性に富むものが多く出品され、非常にハイレベルな乳牛が揃っていたと評価をいただきました。

上位入賞牛の成績は別表のとおりです。

褒賞贈呈式では、中国四国農政局生産部畜産課長をはじめ、多くのご来賓に出席をいただき、畜産に対するご支援、激励のお言葉をいただきました。

畜産功労者表彰も行われ、組合員から勝央町の小村雅紀さんが、おからくの理事として、体制の合理化を図るなど組合の事業運営に取り組みとともに、地域における自給飼料生産、耕畜連携による循環型酪農を実践し、本県の振興に大きく貢献したとして表彰されました。

また、吉備中央町の小倉越子さんは、いち早く牛群検定の重要性を認識し、データを活用した牛群改良を進めるなど地域のリーダーとして酪農経営の改善に寄与し、さらには多年にわたり、おからく女性部委員長などの要職を歴任し、本県の酪農振興に大きく貢献したとして表彰されました。

最後になりますが、ご協力いただきました出品者並びに関係者各位のご支援ご協力に対し心より厚くお礼申し上げます。共進会の報告といたします。

(事務局)



第78回岡山県畜産共進会成績

ホルスタイン種 未経産牛優等賞					
部	名	号	生年月日	住 所	氏 名
1	グランデイル	ヒキワリ E T	R 04.12.05	津山市	吉 原 直 樹
2	カヤベ	セイエラ デンバー アトラス	R 04.09.09	真庭市	(公財)中国四国酪農大学校
3	タカノウ	ソロモン バーバラ チャレンジ E T	R 04.07.26	岡山市	岡山県立高松農業高等学校
4	ロングスト	チーフ T バーバラ	R 04.03.11	真庭市	(有) 長 恒 牧 場
ホルスタイン種 経産牛優等賞					
部	名	号	生年月日	住 所	氏 名
5	グランデイル	チツチヨ	R 03.02.25	津山市	吉 原 直 樹
6	ヒールクレスト	ローヤリスト ロートラスト	R 01.12.27	岡山市	妹 尾 優 佳
7	ロングスト	マダム K D ゴードン	H 31.04.24	真庭市	(有) 長 恒 牧 場
8	グランデイル	ナットウマキ	H 30.05.09	津山市	吉 原 直 樹
ジャージー種 未経産牛優等賞					
部	名	号	生年月日	住 所	氏 名
1	S R J	リッチモンド オールB リンデイ コンツアー	R 04.06.27	真庭市	丸 山 昭 博
2	A G M	O P ウエザー チャオ	R 04.02.16	真庭市	(株) あ さ な べ 牧 場
ジャージー種 経産牛優等賞					
部	名	号	生年月日	住 所	氏 名
3	ジユリエッタ	カジノ フラワー	R 03.08.12	真庭市	(有) 万 庭 牧 場
4	S R J	ビクトリアス プレミアム	R 02.06.06	真庭市	大 江 健 太 郎



ホルスタイン種第2部優等賞首席
カヤベ セイエラ デンバー アトラス
真庭市 (公財)中国四国酪農大学校



ホルスタイン種第1部優等賞首席
グランデイル ヒキワリ ET
津山市 吉原 直樹



ホルスタイン種第4部優等賞首席
ロンゲスト チーフ T バーバラ
真庭市 (有)長恒牧場



ホルスタイン種第3部優等賞首席
タカノウ ソロモン バーバラ チャレンジ ET
岡山市 岡山県立高松農業高等学校



ホルスタイン種第6部優等賞首席
ヒールクレスト ローヤリスト ロートラスト
岡山市 妹尾 優佳



ホルスタイン種第5部優等賞首席
グランデイル チツチヨ
津山市 吉原 直樹



ホルスタイン種第8部優等賞首席
グランディール ナツトウマキ
津山市 吉原 直樹



ホルスタイン種第7部優等賞首席
ロングスト マダム KD ゴードン
真庭市 (有)長恒牧場



ジャージー種第2部優等賞首席
AGM OP ウエザー チヤオ
真庭市 (株)あさなべ牧場



ジャージー種第1部優等賞首席
SRJ リッチモンド オールB リンデイ コンツアー
真庭市 丸山 昭博



ジャージー種第4部優等賞首席
SRJ ビクトリアス プレミアム
真庭市 大江健太郎



ジャージー種第3部優等賞首席
ジュリエッタ カジノ フラワー
真庭市 (有)万庭牧場

現況調査修正

令和5年8月1日現在での現況調査を行い、9月号で報告しましたが、一部訂正がありましたのでお詫び申し上げ、再度ご報告いたします。

☆戸数・頭数

乳牛の飼養戸数及び頭数は(表1)のとおり158戸、14,229頭と前年8月に比べ戸数では16戸、頭数では665頭の減少となりました。品種別ではホルスタイン種は12,717頭(565頭減)ジャージー種他は1,512頭(100頭減)でした。

飼養戸数の内訳は、(表2)のとおり関係機関を除く搾乳農家が155戸、育成農家3戸、関係機関4戸です。また、肉用牛飼養農家は44戸でした。

経産牛頭数は10,678頭(218頭減)育成牛頭数は3,551頭(447頭減)。搾乳農家1戸当たりの平均飼養頭数は90.1頭(4.5頭増)、平均経産牛頭数は67.6頭(5.0頭増)。育成牛率は25.0%となりました。

☆各地区の飼養状況

乳牛飼養総頭数を地区ごとに見ると(表1)西大寺地区が42頭減少、備南地区が236頭減少、びほく地区が5頭増頭、勝英地区が187頭減少、津山地区が70頭減

少、真庭地区が135頭減少となりました。全体では665頭の減少となっております。

また、育成牛率で全体の平均より高い地区は西大寺、津山、真庭の順となっています。

☆飼養頭数別の酪農家戸数

(表3)の飼養頭数別酪農家戸数をみますと30頭未満の飼養農家は46戸(28.4%)、30頭から49頭の飼養農家は36戸(22.2%)、50頭から79頭の飼養農家は42戸(25.9%)、80頭から149頭の飼養農家は23戸(14.2%)、150頭から499頭の飼養農家は12戸(7.4%)、500頭以上の飼養農家3戸(1.9%)となっています。

☆哺育素牛・肥育・和牛繁殖関係の頭数

哺育素牛・肥育・和牛繁殖牛の総頭数は8,970頭です。うち哺育農家、肥育農家、和牛繁殖農家の飼養するホルスタイン・F1・和牛等の頭数は7,433頭となっています。

また、酪農家の飼養する和牛・F1等の哺育素牛・肥育・和牛繁殖牛の総頭数は1,537頭です。

☆飼料作付面積

自給飼料の作付面積については、全体で1,651ha、スーダン・ソルゴー、とうもろこし、その他牧草の順でした。

(生産支援課)

乳牛頭数等取りまとめ表(表1)

令和5年8月1日現在

	西大寺	備南	びほく	勝英	津山	真庭	おからく合計
乳牛飼養戸数 (対前年増減)	25 (-3)	23 (-2)	20 (-1)	25 (-3)	29 (-2)	36 (-5)	158 (-16)
乳牛総頭数 (対前年増減)	1,013 (-42)	6,073 (-236)	1,102 (5)	1,848 (-187)	1,615 (-70)	2,578 (-135)	14,229 (-665)
経産牛頭数 (対前年増減)	674 (-29)	4,759 (-32)	865 (50)	1,520 (-80)	1,087 (-28)	1,773 (-99)	10,678 (-218)
経産牛頭数の 占める割合(%)	6.3%	44.6%	8.1%	14.2%	10.2%	16.6%	
経産牛率(%)	66.5%	78.4%	78.5%	82.3%	67.3%	68.8%	75.0%
育成牛率(%)	33.5%	21.6%	21.5%	17.7%	32.7%	31.2%	25.0%
ホルスタイン種	940	6,067	1,102	1,848	1,601	1,159	12,717
ジャージー種他	73	6	0	0	14	1,419	1,512

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。

おからく現況調査総括表(表2)

令和5年8月1日現在

		西大寺	備 南	びほく	勝 英	津 山	真 庭	おからく合計
酪農家戸数	搾乳農家	24	23	20	25	28	35	155
	育成農家	1	0	0	0	0	2	3
	合 計	25	23	20	25	28	37	158
関係機関戸数	搾乳農家	1	0	0	0	1	1	3
	育成農家	0	0	0	0	0	1	1
	合 計	1	0	0	0	1	2	4
酪農場総数 (乳牛飼養戸数)	搾乳農家	25	23	20	25	29	36	158
	育成農家	1	0	0	0	0	3	4
	合 計	26	23	20	25	29	39	162
肉用牛飼養農家戸数		2	6	6	11	15	4	44
総農家戸数(関係機関を含む)		28	29	26	36	44	43	206
ホルスタイン 頭数	6ヶ月未満	61	237	58	84	106	83	629
	6～24ヶ月	249	1,027	154	244	414	294	2,382
	24ヶ月以上	630	4,803	890	1,520	1,081	782	9,706
	合 計	940	6,067	1,102	1,848	1,601	1,159	12,717
	うち経産牛頭数	621	4,755	865	1,520	1,080	768	9,609
ジャージー他 頭数	6ヶ月未満	5	0	0	0	1	96	102
	6～24ヶ月	15	2	0	0	6	297	320
	24ヶ月以上	53	4	0	0	7	1,026	1,090
	合 計	73	6	0	0	14	1,419	1,512
	うち経産牛頭数	53	4	0	0	7	1,005	1,069
乳用牛総飼養頭数		1,013	6,073	1,102	1,848	1,615	2,578	14,229
経産牛頭数		674	4,759	865	1,520	1,087	1,773	10,678
乳用牛1戸当たり飼養頭数		40.5	264.0	55.1	73.9	55.7	71.6	90.1
乳用牛1戸当たり経産牛頭数		27.0	206.9	43.3	60.8	37.5	49.3	67.6

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。

地区別酪農家戸数(育成農家・関係機関を含む)(表3)

令和5年8月1日現在

	平均 年齢	飼養頭数別酪農家戸数													
		1～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～79	80～99	100～149	150～249	250～499	500～999	1000～	計
西大寺	66.7	3	2	5	6	2	5	1	0	2	0	0	0	0	26
備 南	53.3	0	1	2	3	2	3	2	0	3	3	1	2	1	23
びほく	59.8	2	2	8	3	1	1	0	0	1	0	2	0	0	20
勝 英	55.0	0	0	4	2	6	4	1	2	4	1	1	0	0	25
津 山	54.7	1	2	5	4	1	6	4	3	2	1	0	0	0	29
真 庭	53.0	3	3	3	3	3	5	10	2	4	2	1	0	0	39
合 計	57.1	9	10	27	21	15	24	18	7	16	7	5	2	1	162

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。

上期実績の報告について

本年度、全国の上期生乳生産は、需給の緩和を背景に94・6％台と減

産基調となっております。8月から飲用向け乳価は値上がりしたものの、乳業メーカーは、学校給食牛乳の供給が停止となる年末年始・年度末の需給状況は、昨年同様に緩和すると見込んでおり、処理不可能乳が発生する恐れがあると見通しています。

配合飼料価格は、円安の影響を受け、依然高止まりしており、輸入粗飼料も同様に高止まっています。また、食肉の消費回復の遅れから和牛・F1・ホル雄仔牛価格は大幅に下落しています。

本組合の生乳生産は、上期7戸の廃業があり、生乳生産は前年比96・2％計画比100・5％で推移しています。

今夏は7月からの酷暑の影響で、8月の乳量は大きく減少し、9月以降徐々に回復したものの、前年に比べ生乳生産は落ち込んでいます。一方日本各地では局所的豪雨に見舞われ、停電、断水、倒木、道路寸断など社会インフラに甚大な被害を与えられました。当然、酪農産業へも災害と損失を招いています。改めて、近年頻発する自然災害リスクへの対

応、減災への取り組みが急務と実感しています。

下期に向けて、さらなる乳質改善に取り組み、今年度事業計画

○生乳生産量 91,000t

○購買取扱数量 61,700t

○流通取扱数量 8,400頭

の達成に向けて、組合員の皆様のご協力のもと役職員一丸となり事業展開を進めてまいります。

以下に上期の事業実績の概要を報告いたします。

1. 販売事業

生乳取扱計画数量は、91,000tに対し、上期実績は46,121t(進捗率50・7％)となりました。

生乳販売高は、補給金を含め60億6,329万円でした。基本乳価は昨年同期と比較して13・0円増となりました。年間利益計画3億5,608万円に対し、1億9,975万円(計画比56・1％)となりました。

2. 購買事業

購買取扱計画数量は、61,700t、供給高48億6,310万円に対し、上期実績は数量で30,565t(計画比49・5％)と減少しまし

令和5年度上期事業実績

(単位：円、※は税引前当期利益)

	収 益	費 用	利 益	損益年間計画	計画比(%)
販 売 事 業	555,162,525	355,416,472	199,746,053	356,079,400	56.1
購 買 事 業	2,534,920,105	2,510,538,983	24,381,122	90,000,000	27.1
乳 牛 流 通 事 業	974,256,163	965,832,400	8,423,763	24,845,000	33.9
育 成 牧 場 事 業	5,615,459	5,231,228	384,231	380,000	101.1
生 産 支 援 事 業	21,517,193	23,529,382	△ 2,012,189	△ 2,500,000	80.5
酪 農 ヘ ル パ ー 事 業	45,526,150	45,428,024	98,126	243,500	40.3
改 良 登 録 事 業	3,471,073	2,250,337	1,220,736	2,400,000	50.9
凍 結 精 液 事 業	56,437,105	52,404,246	4,032,859	8,500,000	47.4
牛 群 検 定 事 業	14,528,040	13,180,710	1,347,330	2,800,000	48.1
診 療 事 業	48,084,775	39,309,417	8,775,358	18,700,000	46.9
受 精 卵 移 植 事 業	17,303,756	15,465,650	1,838,106	4,080,000	45.1
事 業 管 理 費		241,260,266	△ 241,260,266	△ 503,640,400	47.9
そ の 他	16,008,330	9,837,496	6,170,834	34,900,000	17.7
合 計	4,292,830,674	4,279,684,611	※ 13,146,063	※ 36,787,500	35.7

たが、供給高は飼料価格高騰のため24億3,512万円(計画比50・1%)となりました。

利益は年間計画の9,000万円に対し、2,438万円(計画比27・1%)となりました。さらなるご利用をお願いします。

3. 流通・育成牧場事業

流通取扱計画頭数は8,400頭、金額で21億0,589万円に対し、頭数で4,077頭(計画比48・5%)、金額で9億7,012万円(計画比46・1%)となりました。年間利益計画2,485万円に対し842万円(計画比33・9%)となりました。

育成牧場事業は、年間利益計画38万円に対し38万円(計画比101・1%)となりました。

4. 生産支援事業

生産支援事業収入の主体は、戸数割・乳量割賦課金となります。これに営農改善事業収入を含めた上期収入合計は、2,088万円(計画比56・3%)となりました。

費用としては、各活動組織への助成や負担金などの組織活動費が608万円(計画比90・1%)となりました。

営農改善事業費は1,678万

円、うち乳質改善費439万円、自家生産牛助成556万円、搾乳牛更新対策費190万円、ヘルパー事業対策費300万円などとなっています。

費用合計は、2,353万円(計画比51・6%)となり、上期の収支差額は201万円のマイナスとなりました。

5. 酪農ヘルパー事業

利用組合員は142戸、総利用日数は2,251日で一戸平均15・9日の利用をいただきました。

専任ヘルパー職員は16名で、1名平均123・9日の出役日数となりました。臨時ヘルパー職員11名の出役日数は総利用日数の12・2%に当たる275・5日となりました。

上期収支は9・8万円のプラスとなりました。

6. 牛群検定事業

牛群検定は、月平均120・7戸(計画比48・3%)、検定頭数は、5,391頭(検定率48・1%)となりました。牛群検定事業の差引利益135万円(計画比48・1%)となりました。

7. 改良登録事業

上期の血統登録件数は一般、自動

を合わせて716件、移動・DNA検査・再交付等は89件、上期の取り扱い件数805件(計画比45・7%)となりました。改良登録事業の差引利益は122万円(計画比50・9%)となりました。

8. 凍結精液事業

精液取扱本数は、15,649本(計画比71・1%)、そのうち乳牛選別精液833本を取り扱いました。凍結精液事業の差引利益は403万円(計画比47・4%)となりました。

9. 診療事業

診療件数は、1,997件(計画比38・4%)でした。差引利益は直売薬品の斡旋等を含め878万円(計画比46・9%)となりました。

10. 受精卵移植事業

受精卵移植事業は、受精卵移植件数212件で、差引利益は受精卵販売等を含め184万円(計画比45・1%)となりました。

11. 経営支援事業

国の助成事業「中小酪農等経営生産基盤・飼養管理改善対策事業」「畜産経営体生産性向上対策(ICT化等機械装置等導入事業)」「堆肥

舎等長寿命化推進事業」「酪農経営災害緊急支援対策事業(非常用電源事業)」「畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(クラスター事業)」「国産粗飼料利用拡大緊急酪農対策事業」に取り組みました。

12. 経理

上期の貸出金残高は、証書貸出金他10,037万円で昨年度同期に比べ483万円減少となりました。年間利益計画390万円に対し、差引利益247万円(計画比63・4%)となりました。

13. 事業管理費

本年度計画5億364万円に対し、2億4,126万円(計画比47・9%)となりました。人件費については、1億9,010万円(計画比48・4%)で推移しています。さらなる削減に努めてまいります。



令和5年度「牛乳・乳製品利用料理コンクール岡山県大会」開催

10月21日、「牛乳・乳製品利用料理コンクール岡山県大会（岡山県酪農乳業協会主催）」が、岡山市南区浦安本町（公財）岡山県学校給食会で行われました。

この料理コンクールは、牛乳・乳製品の消費拡大につなげるため、県下の高校生以上を対象に毎年開催しており、今大会が第44回となります。応募作品数は447点（昨年度559点）でした。



受賞者の皆さんと審査員の先生方

応募の中から、9月27日の書類審査で選考された10名が出場し、1時間の制限時間内で、牛乳・バター・生クリーム・スキムミルクを使い、工夫を凝らしたとても美味しいオリジナル料理を作っていたいただきました。

審査は、政木クッキングスクール校長 政木信昭先生、岡山県学校給食会 向井重明先生、岡山県栄養士会 春名美智子先生、岡山県学校栄養士会 難波美和先生の4名が味や普及性、独創性を基準に行いました。

厳正なる審査の結果、最優秀賞には、岡山県立総社高等学校2年 山田夏蓮さんの『ふわふわ！はんぺんサンドグラタン』、優秀賞は、同校2年 川口梓紗さんの『玄米とシーフードのミルクリゾット焼き』が選ばれました。お二人は、11月18日の中国大会へ出場されます。

（事務局 生乳課）
「牛乳・乳製品利用料理コンクール 岡山県大会」受賞者（敬称略）

最優秀賞

・岡山県立総社高等学校2年

山田 夏蓮

ふわふわ！

はんぺんサンドグラタン

優秀賞

・岡山県立総社高等学校2年

川口 梓紗

玄米とシーフードの
ミルクリゾット焼き

優良賞

・岡山県立高梁高等学校2年

三上 凜

やさしいミルクチヂミ

・岡山県立津山東高等学校3年

清水美佐子

野菜ゴロゴロ！牛乳で作る

トマトバターチキンカレー

・岡山県立津山東高等学校3年

高山 普

アスパラ豚巻き

生姜クリームがけ

・吉備高原学園高等学校2年

稲葉 由菜

和風みそクリームチーズパスタ

・岡山県立岡山南高等学校2年

三宅 紗月

まるやかスープの

ミルク味噌ラーメン

・岡山県立岡山南高等学校2年

南 愛奈

スコッチエッグ風

ホワイトソースのひき肉包み

・岡山県立興陽高等学校1年

小林 美月

しそ香る蒸しなすと

豚しゃぶの冷やし牛乳めん

・岡山県立倉敷鷺羽高等学校2年

重廣 萌心

カニコロッケ風

クリームデニッシュ



岡山県立総社高等学校2年 川口 梓紗



岡山県立総社高等学校2年 山田 夏蓮

「供卵牛情報と採卵計画（12月分）」について

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所

12月の採卵計画をお知らせします。

ご利用の場合より詳細な情報が必要な場合は、最寄りの家畜保健衛生所、受精卵移植師の方等にご相談ください。

なお、能力評価を牛群検定成績から行うため、検定参加農家の方を譲渡対象としています。

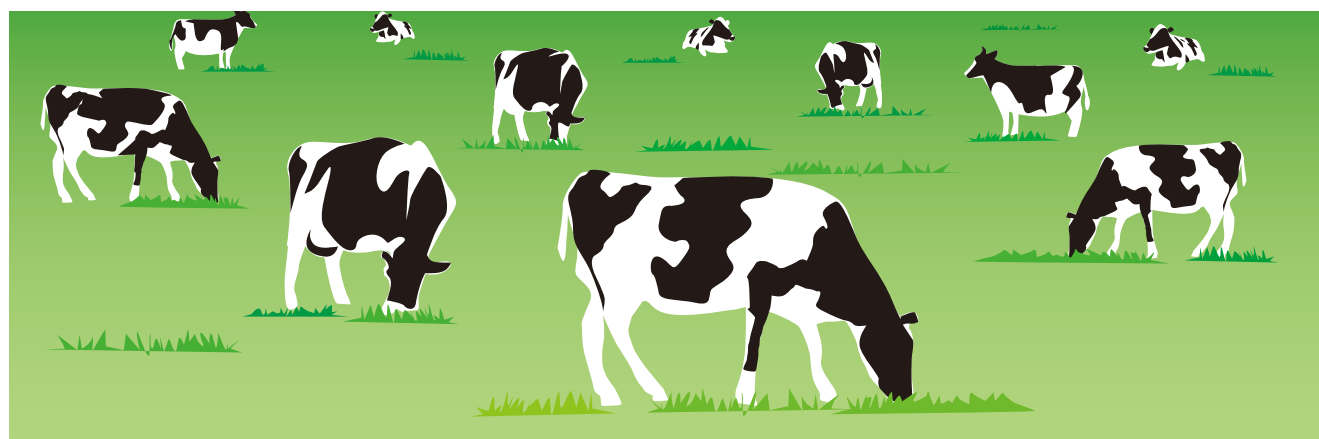
また、採卵予定日や交配予定種雄牛は牛の体調・精液の確保状況等により、急遽変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

今回の1月の採卵は調整中です。

※ご希望・ご意見等ありましたら、畜産研究所までご連絡ください。

交配情報	供卵牛の遺伝能力評価等	採卵予定日
♀：OAC キヤロットケイ ヨダー キアリス ET (キヤロットK) 1407270799 ・キヤロットKの系統。輸入受精卵産子。 ・高い乳脂量（3%以内）！ ・長い在群能力！	GEBV 総合指数 5% 1784 長命連産効果 7% 62381 産乳 5% 1512 耐久性 18% 316 疾病繁殖 78% -44 乳代効果 11% 91858 年齢 06-09 体高 156.6cm 体長 180.4cm	12/7
♂：BRF ジヤマルコ カプレゼ サラダ ET (ヤングサイア) ・“サラダ” ファミリーの種雄牛 ・低い体細胞数！乳脂量+100kg！など、非常に高い産乳成分値！	GEBV 総合指数 19% 1249 長命連産効果 33% 35821 産乳 22% 1018 耐久性 25% 273 疾病繁殖 78% -42 乳代効果 11% 91401 年齢 04-10 体高 158.6cm 体長 180.8cm	
♀：OAC シドニー ロートラスト シエラ サニー ET (シドニー) 1546371654 ・ウイットニー サニーの系統。 ・乳器の良さ、正確な配置。 ・長い泌乳持続性！	GEBV 総合指数 19% 1249 長命連産効果 33% 35821 産乳 22% 1018 耐久性 25% 273 疾病繁殖 78% -42 乳代効果 11% 91401 年齢 04-10 体高 158.6cm 体長 180.8cm	
♂：ウエット ゲームデイ マローン ET (ヤングサイア) ・非常に高い乳脂肪量+98kg！ ・低い体細胞数！繁殖指数も+1.0、搾乳速度も速く、管理しやすい。	GEBV 総合指数 19% 1249 長命連産効果 33% 35821 産乳 22% 1018 耐久性 25% 273 疾病繁殖 78% -42 乳代効果 11% 91401 年齢 04-10 体高 158.6cm 体長 180.8cm	

※GEBV：EBV+ゲノミックの評価値です。



インボイス制度の導入で変わります！②

～おからくの発行するインボイス～

10月号に引き続き、インボイス制度の導入で、おからくがどのように変わったか紹介します。10月号では購買事業と販売事業について紹介しました。

今月号は流通事業を紹介します。

1. おからくの流通事業

おからくの行っている流通事業は主に次の通りです。

(1)酪農家の皆さんが牛を導入（購入）するとき

《管外導入初妊牛》組合員から購入委託を受け、北海道等から初妊牛を導入し斡旋する。

《管内販売牛》組合員から販売委託を受けた育成牛や経産牛を斡旋する。

(2)組合員の皆さんが飼育した牛を販売するとき

《哺育素牛》組合員から販売委託を受け、子牛を哺育・肥育農家へ斡旋する。

《管内販売牛》組合員から販売委託を受け、育成牛や経産牛を酪農家へ斡旋する。

《肉転牛》組合員から販売委託を受け、搾乳を中止した牛を指定業者へ斡旋、家畜市場へ販売する。

(3)肥育農家の皆さんが牛を購入するとき

《哺育素牛、肥育素牛、肉転牛》組合員から販売を委託された哺育素牛や肥育素牛を斡旋する。

(4)全酪連の販売預託事業を利用するとき

《北海道預託牛》全酪連が北海道の育成農家と提携して行っている育成牛預託事業を取り次ぐ。

2. 受託販売と受託買付

おからくの流通事業は、おからくが牛を仕入れて、仕入れた牛を販売する買取販売ではなく、牛の販売を希望する組合員からの委託を受けて、組合員に代わって牛の販売を行う「受託販売」と、牛の導入（購入）を希望する組合員からの委託を受けて、組合員に代わって牛の仕入れを行う「受託買付」を行っています。

おからくは受託者として、委託者である組合員の希望に基づいた価格で媒介（取り次ぎ）することで、組合員の皆さまから手数料をいただいています。

3. インボイスについて

販売委託を受けて、おからくが牛を斡旋した場合、購入者に対して牛の譲渡を行っているのは、受託者のおからくではなく委託者である組合員になります。そのため、本来、委託者の組合員が購入者に対してインボイスを交付することになります。

4. 媒介者交付特例について

媒介者交付特例とは、『委託者（組合員）並びに受託者（おからく）が登録事業者である場合は、媒介（取り次ぎ）を行う受託者が、委託者の課税資産の譲渡等について委託者に代わって、受託者の氏名（名称）及び登録番号を記載した適格請求書（インボイス）を購入者に交付することができる制度』のことです。

委託者（組合員）が登録事業者であれば、この制度を利用しておからくが委託者（組合員）に代わって、購入者におからくの登録番号を付したインボイスを交付することができます。

別紙3 ○○牛請求書

作成日 2023年11月 日

〒000-0000
○○市○○ ○○○番地

様

コードNo. ○○○○○○

おからくの登録番号

〒708-0841
津山市川崎94-1

おからく印

事業者番号: T6260005007174

農林中央金庫 (××××) 担当者
岡山 (×××)
普通 ×××××

仕入税額控除対象 (おからく手数料)

仕入税額控除対象 (〇〇牛立替分) ※注-1

下記の通りご請求申しますから、取引先金融機関へご送金お願いいたします。取扱い回数 1 回

	売上	消費税	立替	消費税	横立	消費税	助成金等	消費税	請求額	合計(税抜)	合計(消費税)
8%										000,000	00,000
10%	0,000	0	000,000	00,000					000,000		
非・不課税											
										000,000	

今回御請求額 000,000

移動日	債権識別番号	生年月日	種別	明細	税率	控除区分	取扱価格	消費税	合計	備考
2023/10/〇	000000000000 ××××××	2023/02/〇	ホルスタイン 雌	牛代 手数料 合計金額	10% 10%	立替 売上	000,000 0,000 000,000	00,000 000 00,000	000,000 0,000 000,000	〇〇〇〇

振込期日: 2023年11月〇日 期日以降の払い込みの場合は、4.5%の未収利息をいただきます。

※ 注-1 立替先の組合員(委託者)が登録事業者でない場合は「立替」にかかる消費税は仕入税額控除できません。

※ 注-2 立替先の組合員(委託者)が登録事業者でない場合は、登録事業者でないことがわかるようにいたします。

委託者の氏名 ※注-2

5. ○○牛請求書について

おからくが媒介（取り次ぎ）した牛を購入いただいた組合員には「○○牛請求書」を送付いたします。牛代金は、おからくが立替えて委託者にお支払いしますので「立替」と表記して請求しています。また、媒介（取り次ぎ）手数料は、「売上」に表記して請求していますので、「立替」と「売上」にかかる消費税が仕入税額控除の対象になります。

なお、委託者が登録事業者でない場合は、「立替」にかかる消費税は仕入税額控除ができませんのでご注意ください。この場合は、請求書の備考欄に「登録事業者でない」ことがわかるようにいたします。

6. 委託者の組合員が登録事業者でない場合

上記5の通り、登録事業者でない組合員から牛を購入すると、消費税額の計算で仕入税額控除ができません。そのため、購入者は納める消費税額が増加することになります。

なお、経過措置で、令和8年9月末までは、登録事業者でない組合員からの仕入れであっても、支払った消費税の8割は仕入税額控除が認められますが、控除できない2割部分は、購入者の負担となります。

そのため、登録事業者でない組合員から販売委託を受け、媒介（取り次ぎ）する場合には、通常の販売価格から消費税の2割に相当する額（販売価格の2%）の値引きをお願いする場合があります。

（総務部）

令和5年度中央審査研究会について

9月20日から22日の3日間、「令和5年度中央審査研究会」が北海道江別市の酪農学園大学で開催されました。

講師は（一社）ホルスタイン登録協会の審査課の方8名で、参加者は25名でした。この研究会の目的は、乳用牛改良事業における体型審査の重要性において技術の習得及び理解を深めることです。

審査頭数は8頭で未経産牛から5歳牛までの牛を審査しました。

審査方法は2つあります。まず線形評価法です。線形評価法とは、乳牛の体型各部位（胸の幅、尻の角度等）について1～9の数値を用いて評価する方法であり、これによって乳牛が持つ体型上の生物学的特徴をより明確に表すことができます。

一方、ホルスタイン種雌牛審査とは、泌乳の生理的、機能的形質および長命性と連産性が体の構造上に現れる違いを見て、効率的で経済的な牛かどうかを正しく見分けるための評価方法です。

審査時間1時間の中で4頭を審査し、その後の1時間で審査課の方々から講評を受けました。いずれの牛もその年齢や産次からすると平均点以上の牛でした。

そして、私の評価と正解の評価から大きくずれていた牛は2頭おり、マイナス形質を見抜けなかったところと産次と年齢の条件を踏まえなかったことが原因でした。

このような牛の評価の考え方や見方を学ん



審査風景

だことは、自分の中でも貴重な経験であり、今後の業務に生かせるような技術です。組合員の方々のお役に立てるように知識を復習しながら牛を見る洗練された目を鍛えていくために日々の業務に取り組んでまいります。

（生産支援課 遠藤 健嗣）

“ビタミンADE”について

全国酪農業協同組合連合会 大阪支所 中四国事務所 伊藤 湧也

はじめに

いつも大変お世話になっております。暦の上では冬となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は、ビタミンについてお話をさせていただきます。中でも脂溶性ビタミンに分類されるビタミンADEに焦点を当ててお話ししようと思います。既にご承知の内容もあるかと思いますが、少しの間お付き合いいただければ幸いです。

ビタミンA

ビタミンAの機能として知られているのは視覚作用、骨格・粘膜・上皮組織の維持、抗酸化作用、生殖、胎児の発育です。またビタミンAは免疫系に影響を及ぼすため、牛におけるビタミンA給与はさまざまな免疫機能向上に正の相関があるとの報告もあります。

ビタミンAはビタミンAそのもの、もしくはβカロテンとして給与します。粗飼料には十分なβカロテンが含まれていますが、多くの穀物や副産物には含まれておりません。βカロテン濃度は牧草の成熟につれて減少します。βカロテンは酸化しやすく刈り取られると濃度は急速に減少します。そのためサイレージや乾草は新鮮な粗飼料と比較してβカロテン濃度が低いことが報告されています。

牛におけるビタミンAの利用性はルーメンにおける破壊の程度と小腸での吸収効率に依存しています。ルーメンでの破壊は大きい可能性が高く去勢牛に乾草およびとうもろこしを給与した際にビタミンAの約6割がルーメン内で破壊されたという報告もあります。

ビタミンAの要求量としては基本110IU/kg（体重）を維持しつつ、追加として35kg以上の高乳量牛に対して1,000IU/kgが示されています。例えば体重680kg、乳量30kgの牛ではビタミンAの要求量は $110 \times 680\text{kg} = 74,800\text{IU}/\text{日}$ となります。乳量40kgの牛では $74,800 + 1,000 \times 5\text{kg} = 79,800\text{IU}/\text{日}$ となります。

（出典：NASEM乳牛栄養要求～第8版～）

ビタミンD

ビタミンDの機能として知られているのはカルシウムの吸収、骨へのカルシウムの蓄積、血中のカルシウムが不足した際に骨からカルシウムを動員する働きの調整です。ビタミンDは消化管粘膜からカルシウムの吸収を促進します。しかし高齢になるとビタミンDに対する腸管粘膜の反応が弱まりカルシウムの吸収能力が低下します。高産次牛において低カルシウム血症が発症しやすくなるのはこちらが起因しています。

ビタミンDは飼料として給与するビタミンDと紫外線照射によって牛体で合成されるビタミンDがあります。ビタミンDの合成は紫外線照射の時間と強度によって変化します。

ビタミンDの要求量としては泌乳牛は40IU/kg（体重）、泌乳牛以外は30IU/kg（体重）と示されています。例えば体重680kgの泌乳牛では $40\text{IU} \times 680\text{kg} = 27,200\text{IU}/\text{日}$ となります。乾草給与の場合、泌乳していないなどの条件付きでビタミンDの給与は必要ないと示されています。

（出典：NASEM乳牛栄養要求～第8版～）

ビタミンE

ビタミンEの機能として知られているのは抗酸化作用かと思っています。体内の細胞膜や各小器官の生体膜である不飽和脂肪酸が活性酸素によって酸化・破壊されるのを防ぎます。乳房炎、子宮炎の予防、繁殖の改善に期待できます。

ビタミンEはトコフェロール類およびトコトリエノール類と呼ばれる一連の脂溶性化合物の総称です。最も生物学的活性が高いのはα-トコフェロールで飼料に認められる一般的なビタミンEです。α-トコフェロールは熱処理や酸素に長時間さらされると破壊されます。予乾やサイレージ調整により25～65%破壊されると示されています。飼料をサイレージ調整する際に予乾期間を短くし、急速な発酵を促すことは一般的にα-トコフェロールの損失を低減します。ビタミンサプリに含まれる合成型α-酢酸トコフェロールの形態だと1ヶ月あたりの損失は2%と保存性は高まります。

ビタミンEの要求量としては乾乳牛は1.6IU/kg（体重）、泌乳牛・育成牛は0.8IU/kg（体重）と示されています。例えば体重680kgの泌乳牛の場合、 $680\text{kg} \times 0.8\text{IU} = 544\text{IU}/\text{日}$ となります。また分娩2～

3週間前の妊娠後期の牛は基本要求量を増やし3IU/kg（体重）もしくは約2,000IU/日に設定されています。これは初乳中へのビタミンEの損失、子宮や乳房の健康維持を想定しています。

（出典：NASEM乳牛栄養要求～第8版～）

すこやかプセル

本会が取り扱っています「すこやかプセル」のご紹介をさせていただきます。カプセル状のビタミン飼料となっており給与しやすく吸収・保存性に優れた製品です。またカプセルはゼラチンが主な材料となっているためビタミン特有の臭いがなく嗜好性に優れます。高濃度ビタミンとなるため、毎日の使用ではなく繁殖管理など用途を限定した使用をおすすめします。牧場での常備品としていかがでしょうか。

おわりに

今回、ビタミンA D Eについて簡単にお話しさせていただきました。ご不明な点のお問い合わせや栄養管理・飼養管理に関するご相談はお近くの全酪連職員にご連絡ください。

すこやかプセル



全国酪農協同組合連合会
すこやかプセル

第18回北海道畜産共進会開催

9月23日・24日、「北海道畜産共進会」が北海道安平町で開催されました。

令和7年に開催予定の全共も同じ開催地のため、会場の視察も兼ねて参加させていただきました。

緊留する牛舎は広々としており、経産牛の後ろに農家さんの待機スペースを作ってもまだ余裕があるほどでした。牛舎から審査会場の距離も短く、通路には簡易テントを設置し、牛が濡れないようになつていたので牛へのストレスは最小限になるよう配慮されていました。待機スペースにて審査に入る直前の牛と農家さんのようすを覗くと、ピリピリした緊張と熱がこちらにも伝わってきて、気圧されそうになりました。

審査会場は広大な設計でたつぷりのオガが敷かれていました。最も驚いたのはその広大な会場が埋め尽くされるのではと思うほどの出品頭数でした。一番多い部

で50頭弱の牛が会場を埋め尽くし、優美に歩行する姿は壮観でした。総出品頭数が400頭ほどであり、その規模感の大きさにも圧倒されるばかりでした。部が進むにつれて月齢に見合



共進会風景

ない大きな牛が登場し、リード

マンを振り回すほどのパワフルな牛も散見されました。しかし

そういった牛は部で多くとも2

〜3頭ほどで、ほとんどの牛が見事にリードされてる姿を見ると、リードマ



共進会出品牛

ンの技術レベルの高さをひしひしと感じました。グランドチャンピオンに輝いたのは北海道北見市の吉野英之さんの出品牛でした。決して大きな牛ではありませんでしたが、体躯の発達と正確性に優れた美しい経産牛でした。審査員はアメリカのバット・コンロイ氏でした。大きい牛が必ずしも評価される、というわけではなく、牛舎に見合った体格かつ産乳性・繁殖性に富んだ牛が評価されるのだな、と感じる審査内容だったと思います。

この度は貴重な機会に参加させていただき、ありがとうございました。会場のようすも把握できたので、全共に向けてしっかり準備を進めてまいります。全共は長丁場ですが、農家の皆さんが出品に全力を注げるようサポートさせていただく所存です。

（生産支援課 日野 翔太）

第42回勝央町金時祭

10月8日、「第42回勝央町金時祭」が勝央文化ホール周辺で開催されました。

勝央町は、金太郎こと坂田金時の終焉の地として知られており、平安時代中期に九州へ征伐に向かう途中重い熱病にかかり、この勝央町の地で亡くなったとされています。この金太郎にちなんで、毎年全町をあげてこのイベントを開催しているそうです。今年は、前日までの天気予報は雨でしたが当日は雨も降らず、朝から大勢の来場者がありました。

熊にまたがった金太郎の行列を皮切りに、太鼓演奏、菓子投げ、ダンス等さまざまな催し物が開催され、屋台村、特産品村目当てに、町内外から多数の家族連れで賑わいました。オープニングパレードの参加者には、おからくから牛乳を200本



「ミルキー」で搾乳体験



行列の先頭を行く金太郎

を提供しました。

当日は、勝央町酪農組合と同女性部がイベントに参加し、1,600本の牛串と瓶牛乳150本、瓶コーヒール牛乳250本の販売を行いました。どちらも昼までには全部売り切れるほどの大盛況でした。また、模擬牛「ミルキー」による搾乳体験も実施し、子ども連れの若い方から年輩の方まで幅広い年齢層の方に体験していただき、こちらも大盛況で終わりました。

イベントへの参加を通して、消費者と直接顔を合わせて言葉を交わしながら自分たちの作った牛乳のアピールができました。生産者、消費者双方にとって非常に素晴らしく意味のある交流となりました。

今後、こうした取り組みを積極的に続けていきたいと思っています。

(津山事務所)

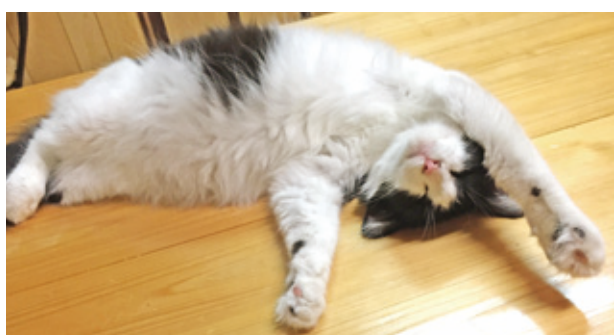
ひろば

猫のいる生活

蒜山事務所 片岡 純一

我が家に猫が来て6年弱がたちました。知人から生後数週間で預かって手のひらに乗るサイズだった猫たちも今やずいぶん大きくなって、日々振り回される生活を送っています。大きくなって落ち着くのかと思いきや、好奇心は増すばかりで、いたずらされるからと部屋のを少なくしていたら、いつの間にか部屋に何もなくなっておりまう。

次にもし生まれ変わるとしたら



猫になりたい：そんな風に思ったことは一度や二度ではありません。眠くなったらいつでも好きなところで、なんなら膝の上で飼い主の足を痺れさせながら寝て、ちよつと可愛い声で鳴けばすぐおやつをもらえたり遊んでもらえる。窓辺で日向ぼっこしながら気持ちよさそうにゴロゴロしている姿を見ると思わず口元が緩みます。自分勝手ですがまだまだ、自分に嘘をつかず正直に生きている猫が羨ましいですよね。

DIYでキャットタワーを作ったり、釣った魚でおやつを作ったり、まさに猫のしもべとならざるを得ません。

酪農ふれあい出張授業

10月19日、オハヨー乳業の食育活動の一環として、赤磐市の軽部小学校において同校の児童と来春統合予定の笹岡小学校の児童合わせて44人が参加し、出張授業が開催されました。

両校児童が体育館に集合し、軽部小学校の岸本校長先生の挨拶の後、オハヨー乳業の職員の方が農家で搾られた後の牛乳はどういった過程を経て学校や家庭に届くのか、牛乳の栄養価の高さや1頭の牛から1日どれ位の牛乳が生産されるかなどについて、クイズを交えながら説明を行いました。

屋外に場所を移し、2頭の子牛を順番に、触ったり撫でたりしながらのふれあい体験を児童と先生も参加して、みんなで子牛とふれあい一緒に記念写真を撮影しました。

再び体育館に移動し、安富牧場の安富照人さんがパネルを使って、牛



子牛とふれあう児童

についてと酪農家の毎日の作業などについて、児童からの質問を交えながら説明されました。

(西大寺事務所)

お礼

このたび、津山市 竹内 基様より香典返礼金として、(一財) おからく教育振興会に金一封をご寄付いただきました。事業主旨に従い、有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

理事会報告

令和5年9月29日、第277回理事會を理事11名、監事3名が出席し、開催した。

長恒組合長より酪農一般情勢等について報告された。

その後、次の事項を協議し、決定した。

○令和5年度生乳需給安定化対策について

令和5年度8月の生乳需給安定化対策の進捗状況等について報告した。

○資産査定規程の一部変更について

金融持株会社の子会社等による保証の「資産査定規程」における扱いを明確化するため、規程の一部変更することを承認した。

○役員選任に係る地区別割当について

理事の役員定数の地区割当、算出方法の組合員数・乳量の比率を決定し、地区別割当人数を第1地区1名、第2・3地区3名、第4地区5

名とすることを承認した。
○組合員名簿等閲覧等請求事件の組合員への報告・確認と控訴について

組合員名簿等閲覧等請求事件の組合員への報告・確認内容を検討し、控訴を行うことを決定した。

○問題債権農家について

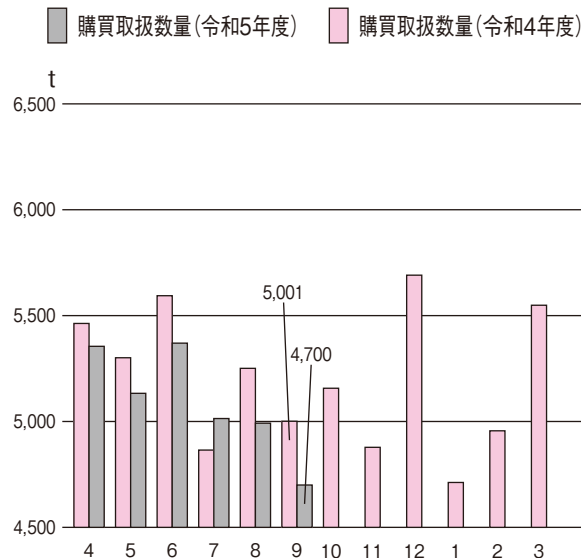
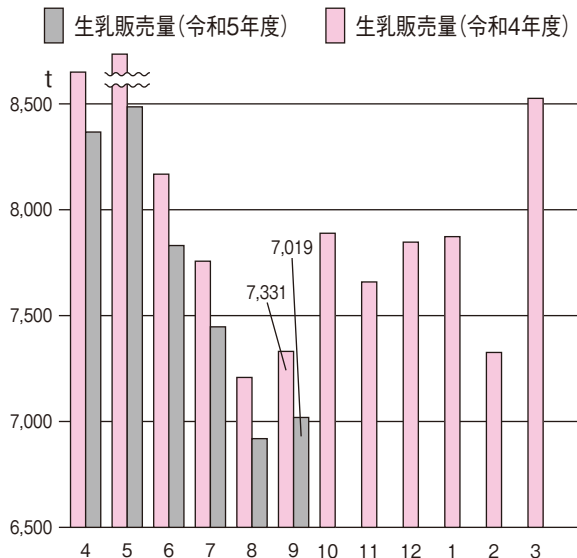
問題債権農家の現状を報告し、今後の対応について協議し、業務遂行にあたり地区役員の協力をお願いした。

○報告事項

定例監事監査の日程について、未収金利息の免除について、岡山県畜産共進会に係るスケジュール等について、おかやまミルクフェア実施概要について報告した。



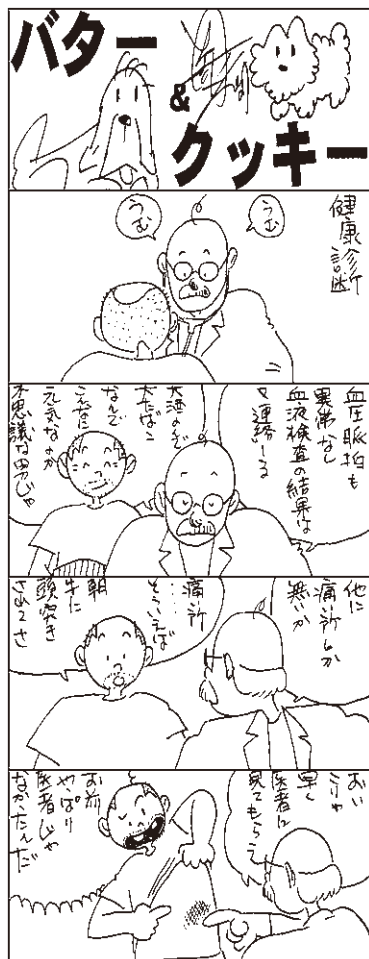
おからく事業実績



生乳統計

※中央酪農会議速報より抜粋

地域	月	生産量 (トン)	用途別処理量 (トン)			前年比 (%)			
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	生産	飲用乳	乳製品	その他
全国	9	534,101	300,268	91,144	142,689	93.9	96.3	78.1	101.2
	4～9	3,434,407	1,754,094	820,798	859,517	94.7	95.5	89.8	97.7
岡山県	9	7,019	6,850	96	73	95.9	96.1	85.7	94.8
	4～9	46,019	44,132	1,362	525	96.2	96.7	79.3	100.6
北海道	9	310,875	85,969	86,578	136,350	94.0	99.8	80.0	100.0



主な行事

11月

13日 酪青研全国大会 (～16日)

21日 酪友フォーラム (～22日)

22日 管理職会議

29日 理事会

12月

7日 全酪団体協管内視察研修

13日 酪農講演会

20日 管理職会議

26日 理事会

北海道初妊牛価格

10月については、更新需要を中心とした一定量の導入需要が見られたものの、出回り頭数が増加したため、平均価格は税込43万円（前月比4千円安）と保合いで推移しました。

11月については、下牧を迎えて出回り頭数は前月と並んで多くなる時期であるものの、引き続き一定量の更新需要に加え、暑熱事故等の代替需要が見込まれることから、相場は保合いで推移することが予想されます。